

# 令和元年度 決算 まちの 財政状況

令和元年度（2019年4月1日～2020年3月31日）の歳入（収入）と歳出（支出）の状況をお知らせします。

## まちのお金は 3つの会計で管理

まちのお金は一般会計、特別会計、水道事業会計の3つに大別されています。

一般会計は、福祉や保健衛生、産業、道路、教育など、全町民を対象とした事業のためのお金です。

特別会計は、国民健康保険や公共下水道、簡易水道、介護保険、後期高齢者医療それぞれの事業を行うためのお金です。

水道事業会計は、独立採算制の地方公営企業として水道事業を行うためのお金です。

## 令和元年度の決算

令和元年度の一般会計の決算は、歳入総額159億9520万円、歳出総額158億8437万円になりました。

歳入歳出の差引額は1億1083万円となり、このうち翌年度へ繰り越す事業の財源が158万円です。実質、1億925万円の黒字となりました。

## 歳入（収入）の内訳

歳入の内訳は、町税が10億4353万円で全体の6・5%（前年度8・5%）を占めています。前年度決算額9億5829万円と比較すると8524万円、税率では8・9%の増となっています。寄付金は67億3692万円で全体の42・1%を占めています。寄付金のうち、ふるさと納税によるものは67億3339万円でした。

## 自主財源と依存財源

自主財源とは、皆さんが納めた税金や使用料、寄付金など、町が自主的に収入することができる財源です。

